

ゴグル形保護めがね取扱説明書

JIS 規格品

この度は、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この製品を正しく安全に使い、機能を十分生かしていただくため、ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書は、読み終わった後も大切に保管してください。

本製品はゴグル形保護めがねですが、本製品の使用によって眼及び身体等への損傷の可能性がなくなることを保証するものではありません。

1. 本製品使用前のご注意

本製品は、JIS T 8147規格品です。製品には万全を期していますが輸送途等にキズや変形或いはネジのゆるみが生じる場合があります。ご使用になるときは、必ず事前に点検をしてください。

2. 本製品の用途

① 下記の作業に適しています。

飛来粉じんや、空中に浮游する粉じんなどが発生する作業に適しています。

研磨・研削作業、グラインダー軽作業、粉碎作業、セメント・粉末薬品などの粉体取扱い作業、バフ作業、鑄造の砂処理作業、農薬散布などの作業に適しています。

② 視力矯正用めがねの上からでも、装着が可能です。(一部を除く)

警告

① 上記以外の用途に使用しないでください。

② 熱現場や有害光線、レーザー光線用に使用しないでください。

③ 作業中にゴグル形保護めがねを外さないでください。

④ 化学薬品取扱い作業では顔全体を保護する防災面と必ず併用してください。

3. 本製品の着用の留意点

① 使用する前に、必ずフレームのキズ・変形、レンズのキズ・透明度及びベルトの弾力性(長期間の紫外線暴露等により劣化する可能性があります)等の点検をしてください。

② ゴグルと顔の間に隙間が出来ないように装着してください。

③ 強く装着したり、ずり落ちたりしないようにベルトを調整してください。

④ 特に視力矯正用めがねやマスクと併用してご使用する時は、隙間が出来ないように調整してください。

4. 保守・管理

取扱いは丁寧に行ってください。

① レンズにキズが付かないように取り扱ってください。

● レンズを直接他の物体に接触させないでください。

● ゴグルを置く時は、必ずレンズ面を上向き、または横置きに置いてください。

② 使用後はレンズ及びフレームの汚れを落とし、粉じん等が付着しないようケースに入れるか、付着しない場所に保管してください。

③ 長期間使用しているとレンズの耐衝撃性が低下したり、フレームが変形する場合があります。ご使用毎に点検をして安全を確保してください。

④ 直射日光の当たる場所、高温の場所、有機溶剤を使用する場所には保管しないでください。

⑤ 防曇レンズ仕様のゴグルについて、保管状態によってはレンズ表面が白っぽくなる場合があります。これは防曇剤の働きによるものです。ご使用前に柔らかい布等で軽く拭き取ってください。

● キズや汚れは防曇効果が低下する場合があります。

● 防曇効果が低下した場合には、別売りの曇り止め液「デミストシリーズ」をご使用ください。

5. 洗浄方法

常に製品をきれいにしてください。

① 本製品が汚れた場合には、水を含ませた柔らかい布等で汚れを払い落とし軽く拭いてください。

● 汚れた手袋、タオル、布などを使って、製品を拭かないでください。

● ゴミ、ホコリ、鉄粉や油脂などが付着した場合には、レンズを水に浸し指先で汚れを落とした後、柔らかい布地などで軽く拭いてください。

② 本製品の樹脂部分については、有機溶剤、酸、アルカリの種類によっては変形・破損の可能性がありますので、これらの薬品を洗浄には使用しないでください。

● これらが付着した場合には、上記①と同じ方法で洗浄してください。

③ 消毒が必要な場合は、消毒用アルコールを染み込ませたガーゼ、布などで製品を拭き取り、処理後はしっかりと液分を拭き取ってから使用してください。

6. 交換時期

下記の場合は、速やかに交換してください。事故、破損や眼の疲労の原因となり危険です。

① レンズにキズや汚れが付着し、見えにくくなったとき。

② レンズ、フレームに劣化、変形等が生じた場合やベルトの伸縮性が低下した場合。

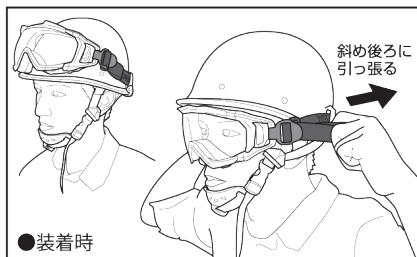
7. 改造、修理等

ご使用者による以下の行為は事故、破損の原因となり危険ですので絶対におやめください。

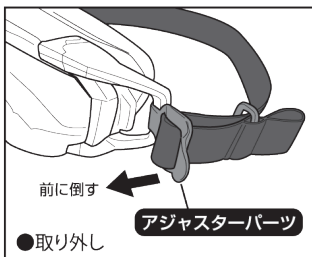
① 改造、変形等。

② 接着剤等による修理。

8. SRベルト取扱いについて



●装着時



●取り外し

■装着

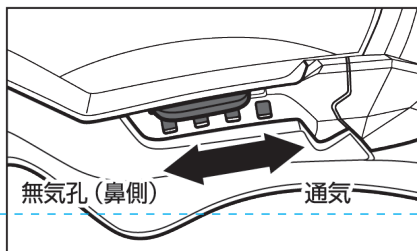
ゴーグルを帽体からおろして顔に当てがい、両サイドにあるベルト端部を左右の手でそれぞれ斜め後ろに引っ張って顔に固定します。

■取り外し

ゴーグルの両サイドにあるアジャスターパーツを前に倒すことでベルトが緩み、スムーズに顔から取り外すことができます。

※別売のYCPスプリングバンドに交換が可能です。

9. 開閉式ベンチレーションについて

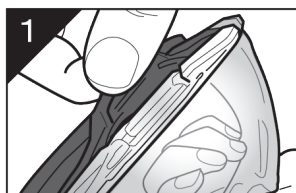


■操作方法

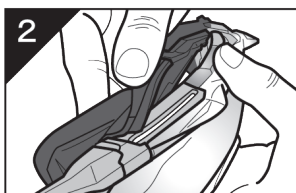
レンズ下部に設けられたパーツをスライドすることで、無気孔な状態と通気される状態を切り替えられます。

10. シリコンクッションの取り外し、取り付けについて

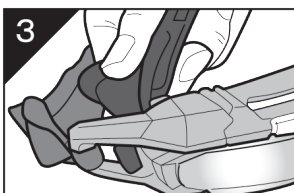
①シリコンクッションの取り外しを行う場合は、以下の手順に従って、おこなってください。



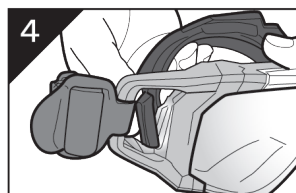
クッション中央部分を上方向へ軽く持ち上げます。



クッション内部の突起をフレーム上部から抜き取ります。



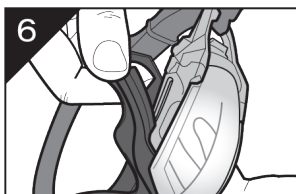
レンズ上端にあるツメからクッションを抜き取ります。



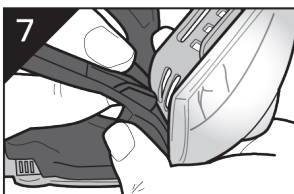
レンズサイドにある凸部からクッションを取り外します。



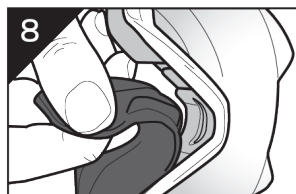
レンズ下端にあるツメからクッションを抜き取ります。



クッション内部の突起をフレーム下部から抜き取ります。

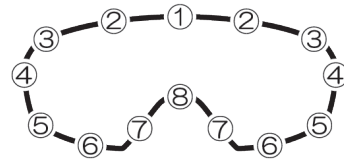


フレームノーズ部両サイドに差し込まれているクッションの突起を抜き取ります。



フレームノーズ部に差し込まれているクッションの突起を抜き取ります。

- ②シリコンクッションを取り付ける場合は、逆の手順でおこなってください。
③フレームとクッションの間に、浮き・すき間がある場合は、しっかりと取り付けられていない可能性があります。クッションの突起やレンズのツメが、しっかりと取り付けられていることを確認の上、ご使用ください。



11. シリコンクッションの取扱いについて

- ①食器洗い用中性洗剤を泡立つ程度に薄めた洗浄水で洗浄した後、水道水で十分にすすぎ洗いをして、乾燥させてください。
- ②中性洗剤の成分が残っていると、フレーム・レンズに悪影響を及ぼす可能性があります。
- ③肌にやさしいシリコンクッションを使用していますが、ゴーグルを長時間ご使用になると、ごくまれに肌に異常があらわれる場合があります。万が一、発疹・かぶれ・かゆみ等の症状があらわれた場合は、ただちに使用を中止し、専門医にご相談ください。
- ④交換時、着脱時に、無理に引っ張るとクッションが破損する可能性がありますので、ご注意ください。
- ⑤ヘルメットに装着する際、クッションが折れ曲がった状態で保管されると、変形する恐れがありますので、ご注意ください。